



# 愛媛県立北条高等学校

〒799-2493

愛媛県松山市北条辻 600 番地 1

TEL 089-993-0333

FAX 089-993-0426

昭和 22 年 北条町外六か村組合立風早青年学校を愛媛県立松山農業学校と改称

昭和 23 年 学制改革により県立松山農業高等学校となる

昭和 28 年 松山北高等学校北条分校を設置 昭和 39 年 北条分校が愛媛県立北条高等学校となる

自律・創造・敬愛を校訓として、総合学科の特色を活かし、生徒の「自分探しの旅」を支援する教育を推進することを教育方針とする。

学級数：19 生徒数 697 総合学科（人文科学・自然科学・国際教養・スポーツ科学・情報ビジネス  
生活科学・生活福祉・芸術）

## 愛媛マラソンへボランティア参加

毎年 2 月に開催される愛媛マラソンは、北条地区を折り返し地点とするため、ボランティアスタッフとして運動部の生徒を中心に教職員も含み、100 名ほどが参加する。地域貢献とともに、生徒にとっても奉仕の精神、社会性を育成することができる。

JRC 部は、活動の拠点が福祉施設でイベント等の補助や交流を行っているが、介護福祉士を目指す生徒の多い生活福祉系列の生徒で占められている。訪問先の先輩と同じところに就職する生徒もいる。

学校全体としては、学校行事として 1 学期に、国道沿い、海岸沿いの清掃活動がある。また、運動部および生徒会は JR 北条駅の清掃を、長期の休みを利用して行っている。

生徒会独自の活動として世界の子どもたちにワクチンを届けることができるよう、エコキャップの回収をしている。



愛媛マラソン



国道沿いの清掃活動



また、個人ではヤングボランティアセンターに登録している生徒が多く、東北へボランティアに行った生徒もいる。現実を知ることができたので、話を聞くだけではなく、いろいろな人に伝え、自分にできることを支援したいという。

ボランティア活動をすることによって、積極的にになり、相手を認める気持ちや思いやりの心が育つようになった。また、相手からの感謝の言葉をいただいたり、「やってよかった」と達成感を感じたりして心が成長したように思う。

なにもしない生徒が増えている。その生徒たちをボランティアに参加させることのできる工夫をしていきたい。



# 愛媛県立松山東高等学校

〒790-8521

愛媛県松山市持田町2丁目2番12号

TEL 089-943-0187

FAX 089-934-5766

文政11年 藩校・明教館として設立

明治11年 愛媛県立松山中学校となる。昭和24年 愛媛県立東高等学校として出発。

『より高く、より広く、より深く、そしてより豊かに』をモットーに、輝かしい伝統を受け継ぎ、新たな創造を切り拓く、人間的魅力のあるリーダーの育成を目指す。

学級数：27 生徒数：1076 普通科

## 小さな活動から…がんばっていきまっしょい

学校として単独の組織を作ってボランティア活動はしていないが、毎年、ヤングボランティアセンターや個別でボランティア活動をした生徒に「三好志奈ボランティア賞」が贈られる。

学校を挙げて「何をしたか」ではなく、普段から個人の範囲内で「今の自分にできること」、小さな活動をしていくことが望ましい。教育活動を通して、生徒が社会的に弱い立場に置かれた人の現状を知り、困っている人に自分にできることをさせてもらいたいという気持ちを育てることがボランティアに繋がると考えている。

委員会活動では、家庭クラブが保育園や老人ホームを訪問、保健委員会が文化祭で献血の呼びかけ、人権委員会が手話講座を開講し、手話スピーチコンテストにも出場する。

また、「格差社会を考える～ホームレス支援の活動を通して～」と題して、人権教育講演会を実施した。無償で夜回りをしているという講演者の話を聞いた生徒は社会的弱者の人たちを社会全体で見守ることの大切さに気付いたようだ。



手話交流会風景

来年、香川県の離島・大島の国立療養所青松園へフィールドワークに行く計画を立てている。ハンセン氏病療養所のあるところである。社会問題に興味のある人権委員が参加する。

ボランティアを組織することは難しい。何をしたいかわからないということもある。プロジェクトを組んでもそのことがらが落ち着いたら消えていく。

ボランティアの評価は自己評価が基本だと考える。何かがあって「助けてい」気持ちが生徒に育ち行動できればいいと思う。



梅津寺清掃



# 愛媛県立松山南高等学校

〒790-8521

愛媛県松山市末広町 11-1

TEL 089-941-5431

FAX 089-933-3144

明治 24 年 私立愛媛県高等女学校設立

昭和 24 年 愛媛県立松山南高等学校となる

校訓「自らを律せよ」のもと、志高く、未来を切りひらく人材を育てることを重点目標とし、豊かな教養と視野の広い生徒、心身共に健康で人間性豊かな生徒の育成に努め、生徒の個性・能力を伸ばし、自己実現することを積極的に支援する。

学級数：27 生徒数：1079 普通科・理数科

## 自ら考え行動する力へとつなげたい

1年間を通し、「みなみみどりの日」清掃活動として、1,2年生がクラス単位で松山市駅前ロータリー付近の清掃をしている。この活動は、20年前、地域に貢献する活動の一環として始まった。継続して実施することで、ゴミの分別やポイ捨て禁止などの意識の向上につながった。

他には、生徒会が「あしなが育英会」のための街頭募金、校内では「歳末助け合い運動」の募金活動をしている。

本校の活動はクラス単位での一斉活動が多いが、これらの活動がきっかけとなり、共生する意識や社会貢献、社会的課題への自発的な活動として繋がっていく可能性があると感じている。



エコキャップ



みなみみどりの日清掃活動

参加した生徒は、力がついた、楽しかったと肯定的である。補習や部活等で忙しく、外部からのボランティアの依頼があっても参加しづらい現状だが、自分たちが考え行動する時間を確保するための環境づくりに心がけたい。また生徒への啓発を促すために、より積極的な広報活動を行っていきたいと考えている。

運動会や文化祭の学校行事の際には、生徒会が町内会や各家庭を回り、活動へのご理解とご参観の挨拶に伺っており、地域のつながりを密にしている。



# 愛媛県立松山南高等学校

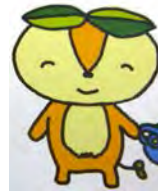
## 砥部分校

〒791-2141

愛媛県伊予郡砥部町岩谷口7

TEL 089-962-4294

FAX 089-927-2964



マスコットキャラクターえこた  
ゆるキャラグランプリにエントリー

昭和 23 年 愛媛県立砥部高等学校（定時制普通科）砥部中学校校舎で開校

昭和 37 年 愛媛県立松山南高等学校砥部分校となる（全日制工芸科・家政科）

昭和 45 年 家政科廃科、デザイン科単科となる

デザインの基礎となる、観察する力、表現する力、情報を発信する力を育む。

学級数：5 生徒数：136 デザイン科

### 大宮八幡宮へ絵馬奉納

20 年前、椿神社から依頼があつて絵馬を奉納していたが、干支が一回りしたので終了した。その後、地域の大宮八幡宮より絵馬の依頼があり、美術部の生徒が図案を考えて絵を描き、12 月末には奉納する。今年で 8 年目となる。

また、毎年 7 月に 1 回、3 班に分かれて、全校が一斉に清掃活動をする。校内と学校周辺、近隣の坪内邸の 3 か所である。坪内邸は管理者が卒業生ということもあつて清掃することになったがその縁で、本校の卒業生が毎年この邸を借りて個展を開いている。

家庭クラブが中心となって、地域の高齢者施設や児童館にイベントのお手伝いに毎年出かけているが、高齢者施設では感受性の豊かな生徒が多いため、高齢者のよき話し相手になれるようだ。また、児童館の夏のイベントでは、専門性を生かしお化け屋敷のポスターや絵を描いて喜ばれている。

校外活動では、愛媛新聞社主催のヤングクリエイター大賞に個人で応募し、広告のイラストおよびコピーで入賞した者も数名いる。

活動を通して、他人を思いやる心や地域の所属意識が高まり、特技を生かして人の役に立つことで、自信や自己肯定感が養われている。お手伝いに行った先では、優しい言葉がけができる、様々な場面で何をすればいいか考えながら積極的に動いている等、評価していただいている。

今後は、より多くの生徒が地域に出かけ、交流を深めていけるように、デザイン科としての特性を生かしたボランティア活動の幅を広げていきたい。





# 愛媛県立松山北高等学校

〒790-0826

愛媛県松山市文京町4番地1号

TEL 089-925-2161

FAX 089-927-2964

明治33年 北予中学校を開校する

昭和24年 学制改革により愛媛県立松山北高等学校として発足

校訓は「文・武・心」。学業と部活動を両立させ、それらの活動を通して知性を磨き、心身を鍛え、自立できる生徒、および感謝と思いやりの心を持ち共生できる生徒を育成する。

学級数：29 生徒数：1115名 普通科

## 本校のゆかりの地での学習と清掃活動

2年生の秋、授業時間を「城山回廊探索」に充てている。地域の方々や本校OBが案内役で、秋山好古校長居宅跡、坂の上の雲ミュージアム、萬翠荘、県庁本館、堀之内の歩兵第22連隊跡、松山城二の丸庭園、松山城を訪問する。

地域の歴史を知りその地の美化活動に、1年生は城山4登城道の清掃活動(松山城総合事務所と連携して毎月1回実施)をする。2年生は、護国神社内の城北高女殉職学徒追悼碑(学徒動員先の空襲で死去した22名の女学生のために本校同窓生が建立、高齢となった城北高女の卒業生から清掃を引き継ぐ)、万葉苑(万葉集で歌われた草木がその歌とともに栽培されている。城北高女の卒業生が清掃されていたが高齢のため、引き継ぐことになった)の清掃活動を護国神社・万葉苑保存会と連携して、7月～3月の毎月1回実施している。

生徒は、自分たちの通っている高校と縁の深い地域の歴史を知ることによって清掃活動に熱心に取り組む。

地域の方々からは、定期的に清掃してもらえるのでたいへんありがたいと感謝されている。



また、野球部では、「部活動で迷惑をかけることもあるので自分たちでできることはしたい」と市民大清掃の折、学校周辺の草引き、ゴミ集め等をした。地域の方は、「町内活動が活発とはいえないので助かるし、うれしい」と感謝された。

交流活動として、1年生は2学期に小学校・施設訪問をする。小学低学年・障がい者との交流をするため、ホームルームをつかって、計画・準備をする。

地域の小学校や施設への交流を通して、感謝と思いやりの心を育むことができている。